

大田原中学校区小中一貫教育グランドデザイン

大田原中学校区小中一貫教育目標

「夢や希望に向かい たくましく生きる児童生徒の育成を図る」

基本方針

本校区は、西原小学校・紫塚小学校・大田原中学校の2小1中からなり、小・小・小中連携による児童生徒の活動の工夫や教職員交流による教育活動の推進及び研修の充実に努めてきた。今後も、小中一貫教育目標や目指す児童・生徒像を共有し、教職員の相互理解を深め、9年間の系統的な教育システムを構築していく。

大田原中学校



知性の涵養 体力の充実 品格の育成

小中一貫教育のねらい

本校学区では9年間の小中一貫教育を通して、「夢や希望に向かい、たくましく生きる児童生徒の育成を図る」ことを目指す。そこで、小中の円滑な接続、教職員の意識改革、学校と地域との連携・協働などに取り組み、「確かな学力の育成」、「豊かな心と社会性の育成」、「健やかでたくましい心と体の育成」をねらいとする。

西原小学校



よく考え進んで学ぶ子 明るく思いやりのある子 健康でたくましい子

【目指す児童生徒像】

自ら進んで学ぶ子供
礼儀正しく思いやりのある子供
心身ともにたくましい子供

目指す教師像

夢や感動を子供に与えられる教師
子供の力を最大限に引き出す教師

紫塚小学校



考えて学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

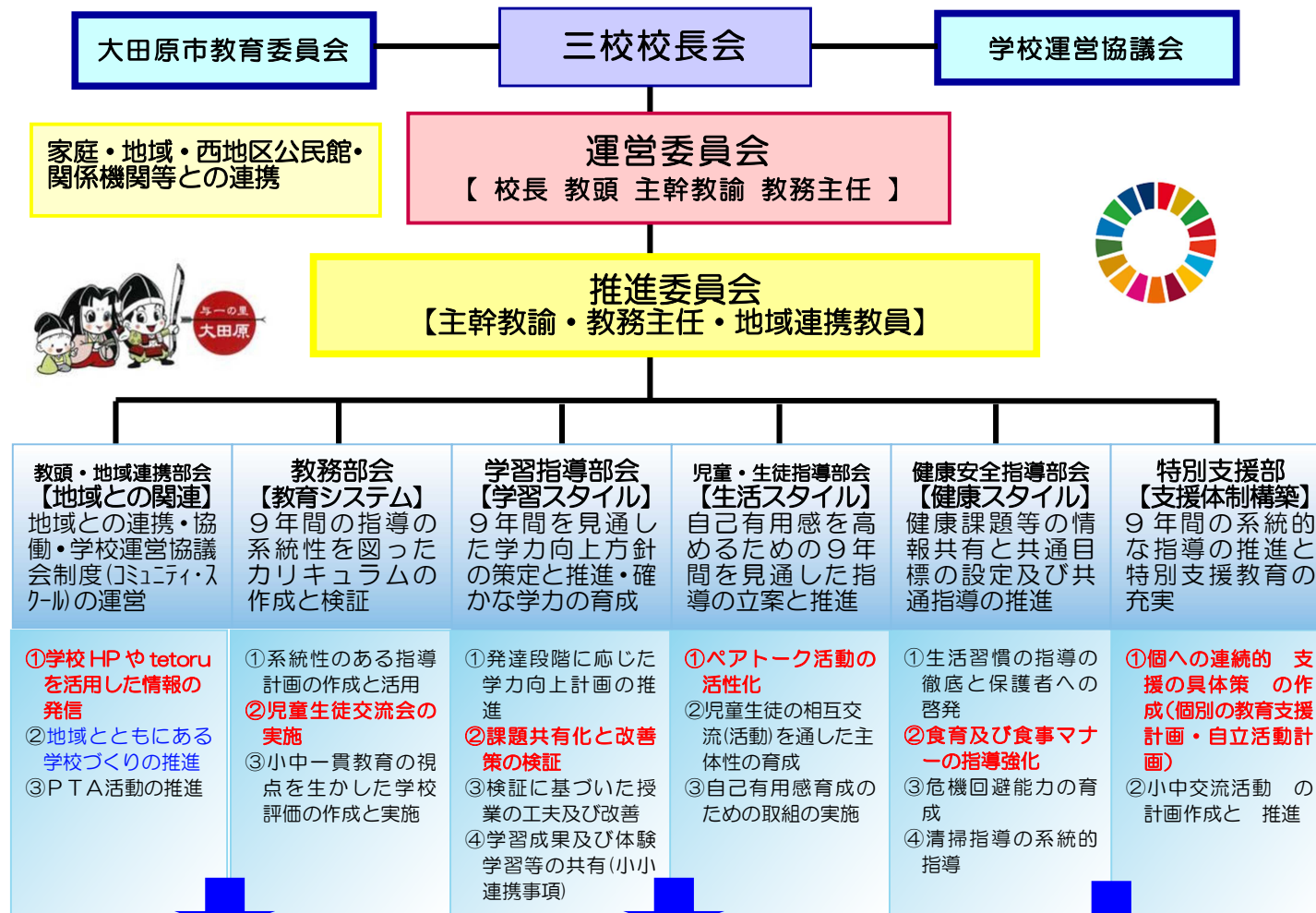
9年間を見通した系統的な教育活動の推進

区 分	確かな学力の育成 ○自ら進んで学ぶ子供	豊かな心と社会性の育成 ○ 礼儀正しく思いやりのある子供	健やかでたくましい心と体の育成 ○ 心身ともにたくましい子供
後 期 発展・充実期 8・9年生 中2～中3	【学習態度】 将来の夢に向かって、自らの学びの質をメタ認知しながら学習を進めることができる。 【表現する力】 自分の考えを理由や根拠を明確にしながら表現できる。 【学び合い】 伝え合うことで、個人や集団の考えを深めることができる。	【あいさつ】 明るい学校・地域づくりを目指し、適切な場に応じたあいさつができる。 【規範意識】 学校や社会のきまりを守り、適切な判断をし、行動しようとする。 【自己有用感】 自分の役割を自覚し、地域のために貢献することができる。	【運動習慣】 積極的に運動を取り入れ、体力の増進を意識した生活を送ることができる。 【生活習慣】 健康な体を維持するためにバランスのよい食事と睡眠時間の確保を心がけて生活することができる。 【心の安定】 自分に合ったストレスの対処法を考えた生活を送ることができる。
中 期 活用・定着期 5～7年生 小5～中1	【学習態度】 学ぶ意味を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。 【表現する力】 自分の考えを分かりやすく表現できる。 【学び合い】 伝え合うことで、自分の考えを深めることができる。	【あいさつ】 明るい学校づくりを目指し、自ら進んであいさつができる。 【規範意識】 学校や社会のきまりを守り、礼儀正しく行動しようとする。 【自己有用感】 友達や家族のために進んで役割を果たせる。	【運動習慣】 運動活動に積極的に参加し運動に親しむことができる。 【生活習慣】 望ましい生活習慣を意識した生活ができる。 【心の安定】 他者を思いやりながら学校生活を送ることができる。
前 期 基礎期 1～4年生 小1～小4	【学習態度】 興味や関心をもって学ぶことができる。 【表現する力】 自分の気持ちや考えを表現できる。 【学び合い】 お互いの考えの共通点を見つけながら話を聞くことができる。	【あいさつ】 明るく元気なあいさつができる。 【規範意識】 学級や学校のきまりを守ろうとする。 【自己有用感】 自分の役割を果たせる。	【運動習慣】 休み時間に元気に外遊びができる。 【生活習慣】 「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを守ることができる。 【心の安定】 友達と仲良く、学校生活を送ることができる。

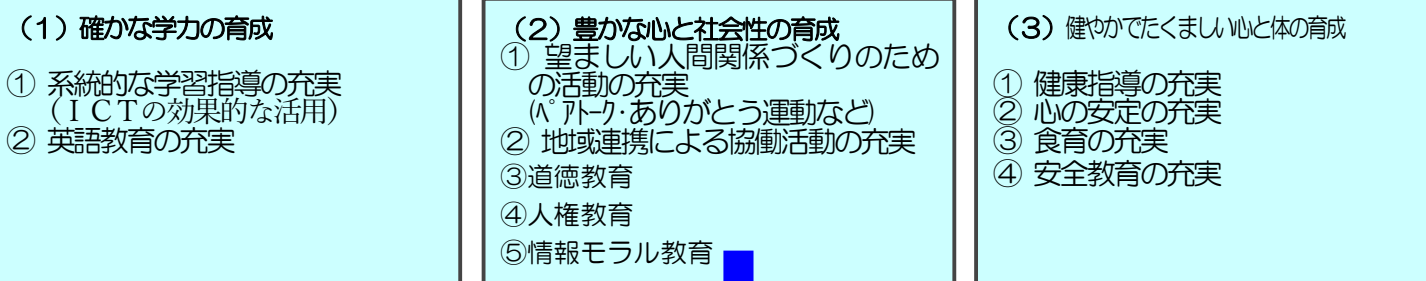
市小中一貫教育目標

9年間を見通して目指す子供像を共有し、子供たちの豊かな人間性、確かな学力・コミュニケーション力・社会適応能力の育成と向上を図る。

小中一貫教育推進組織



大田原中学校区「学校課題」 「主体性のある児童生徒の育成」～9年間を見通した連続性のある学びと育ちを目指して～



本年度の重点具体策

○児童生徒交流会(中1・小6) ○小小連携の充実
○外国語(英語)授業の充実 ○ICT活用の充実

自ら学び、考え、判断し、表現していくことができる
「生きる力」